MIZUHO　みずほ銀行　One MIZUHO

みずほCustomer Desk Report　2022/12/21 号（As of 2022/12/20）

市場営業部　為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	公示仲値 EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
			第一公示：137.39		第二公示：134.84
TKY 9:00AM	137.00	1.0612	145.36	1.2142	0.6705
SYD-NY High	137.46	1.0657	145.81	1.2219	0.6743
SYD-NY Low	130.58	1.0579	138.81	1.2086	0.6629
NY 5:00 PM	131.71	1.0623	139.90	1.2187	0.6680

	終値	（前日比）		終値	（前日比）
NY DOW	32,849.74	92.20	日本2年債	0.0100%	0.0200%
NASDAQ	10,547.11	1.08	日本10年債	0.4000%	0.1500%
S&P	3,821.62	3.96	米国2年債	4.2648%	0.0028%
日経平均	26,568.03	▲ 669.61	米国5年債	3.7924%	0.0748%
TOPIX	1,905.59	▲ 29.82	米国10年債	3.6909%	0.1026%
ｼｶｺﾞ日経先物	26,350.00	▲ 845.00	独10年債	2.2980%	0.1005%
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	7,370.62	9.31	英10年債	3.5930%	0.0955%
DAX	13,884.66	▲ 58.21	豪10年債	3.7630%	0.2370%
ﾊﾝｾﾝ指数	19,094.80	▲ 258.01	USDJPY 1M Vol	13.71%	2.29%
上海総合	3,073.77	▲ 33.35	USDJPY 3M Vol	12.66%	1.81%
NY金	1,825.40	27.70	USDJPY 6M Vol	11.69%	1.25%
WTI	76.23	0.85	USDJPY 1M 25RR	▲1.92%	Yen Call Over
CRB指数	272.27	1.71	EURJPY 3M Vol	11.74%	1.38%
ドルインデックス	103.97	▲ 0.76	EURJPY 6M Vol	11.25%	1.02%

東京

東京時間のﾄﾞﾙ円は137.00ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。仲値にかけて実需のﾄﾞﾙ買いにｻﾎﾟｰﾄされ、ﾄﾞﾙ円は137.46まで上昇した後、日銀金融政策決定会合結果を控え137円前半で小動き。会合結果では現行政策金利は維持する一方で、「ｲｰﾙﾄﾞｶｰﾌﾞ･ｺﾝﾄﾛｰﾙ政策を一部見直し、長期金利の変動幅を既存の±0.25%から0.50%程度へ拡大する」旨の表明がなされたことで、市場では事実上の本邦当局による利上げと受け止められてか、円買いが加速し、ﾄﾞﾙ円は133円台へ急落。133円前半で一時下げ渋るも、円買いの勢い止まらず、133円を割り込み132.68まで下落し、132.72ﾚﾍﾞﾙで海外時間へ渡った。

ロンドン

ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、132.72ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。日銀報道に振られた。立ち上がりに133.70まで買い戻される場面もあったが程なく切り返すと132.00まで売られる。しかし結局ほぼ変わらずの132.74ﾚﾍﾞﾙでNYに渡るﾎﾞﾗﾀｲﾙな展開だった。

ニューヨーク

海外市場のﾄﾞﾙ円は137円付近でｽﾀｰﾄ。東京時間では仲値にかけて買いが先行し、137円台半ばまで上昇するが、日銀金融政策決定会合の発表でｲｰﾙﾄﾞｶｰﾌﾞｺﾝﾄﾛｰﾙ(YCC)の許容変動幅拡大が報じられると円買いで反応し、133円台に急落。その後の黒田総裁の記者会見ではYCCの運用見直しについては利上げや緩和縮小ではないことを強調するも、ﾄﾞﾙ円は神経質な値動きが続き、一時132.00まで下落。早朝は買い戻し優勢で132.74ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は米11月分の住宅着工件数や建設許可件数が発表されるも、強弱入り混じった結果に市場の反応は限定的。その後、日銀によるﾀｶ派的ｻﾌﾟﾗｲｽﾞが再び意識される中、円買いが強まり海外時間安値(132.00)を下抜ける。ｸﾘｽﾏｽ休暇前で取引参加者が少なく、買い手不在の中、ﾄﾞﾙ円は下値模索の展開となり、一時130.58をﾀｯﾁ。売り一巡後は131.70近辺まで反発後、結局、131.71ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。一方、海外市場のﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.06ﾚﾍﾞﾙ前半でｽﾀｰﾄ。日銀絡みのﾍｯﾄﾞﾗｲﾝを受けて1.0651まで上昇するも滞空時間は短く、上に往って来い。その後、ﾄﾞｲﾂの11月PPIが予想ほど上昇していなかったことが伝わるとﾕｰﾛ買い優勢となり、1.0614ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は対円のﾄﾞﾙ売りがﾕｰﾛﾄﾞﾙにも波及し、一時1.0657まで上昇。一巡後はじり安推移となり、結局、1.0623ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当：逸見・西

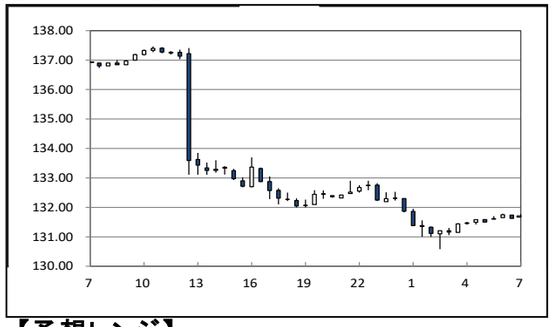
【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
12月20日	12:01	日	日銀：当座預金残高の政策金利	20-Dec	-0.10%	-0.10%
	12:01	日	日銀：10年国債金利の操作目標	20-Dec	0.00%	0.00%
	15:30	日	黒田日銀総裁 会見	20-Dec	YCC見直し（10年国債の許容変動幅±0.50%へ）	
	16:00	独	PPI(前月比/前年比)	11月	-3.9%/28.2%	-1.7%/31.1%
	22:30	米	住宅着工件数/前月比	11月	1427k/-0.5%	1400k/-1.8%
	22:30	米	建設許可件数/前月比	11月	1342k/-11.2%	1480k/-2.1%
12月21日	00:00	欧	消費者信頼感・速報	12月	-22.2	-22.0

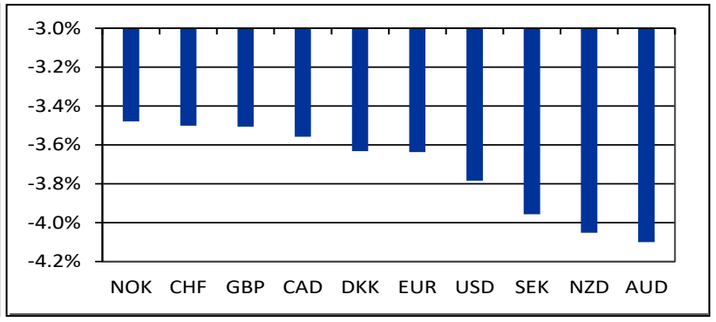
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
12月22日	00:00	米	中古住宅販売件数	11月	4.20m	4.43m
	00:00	米	ｺﾝﾌｧﾚﾝｽﾎﾞｰﾄﾞ消費者信頼感	12月	101.0	100.2

【ドル円相場】



【対円騰落率（日次）】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	130.00-133.00	1.0500-1.0700	138.50-142.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は急落。東京時間正午ごろに発表された日銀会合では大方の予想を裏切り、長期金利の変動幅を25bp拡大させると伝わると、137円台半ばから133円台まで急落。黒田総裁の記者会見では当該措置が利上げや引き締めを意味しないことが強調されるも、今後の先行きへの不透明感を払拭できず円買いは継続。海外時間に入り132円台も割り込むと、クリスマス休暇前で流動性が薄くなる中、130.58まで下落。終盤にかけては若干の買戻しが入ったものの、勢いはなく131.71付近でクローズした。

本日のドル円は神経質な展開が継続か。事前に政府関係者から政策の修正時期が少なくとも春以降になることが示唆され、円安を活かした外需取り込みへの動きもあっただけに、今回の日銀会合の決定は大きなサプライズとなった。値幅7円の値動きはややや過ぎ感があるものの、日銀への不信感や市場との対話に疑義が残る中、ドル円は上値重い展開となろう。時期としては上述の通り流動性が薄くなる中で、値幅を伴った値動きが発生しうる点には留意したい。

One MIZUHO 未来へ。お客さまとともに